

事業報告

平成24年度（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）の事業の概況についてご報告申し上げます。

当期の経済状況は、前半においては、個人消費、雇用、生産、設備投資などで緩やかな回復基調となりましたが、後半には厳しい局面に変わり、再び第4四半期には回復基調の兆しで年度を終わりました。しかし、観光事業につきましては、一昨年3月11日に発生しました東日本大震災の風評被害が続く中、新たに発生しました尖閣列島や竹島問題の影響が大きく、中国、韓国からの旅行客の大幅な減少となり、国内観光客は復調傾向にありますが、全体としては厳しい一年となりました。

当社にとりまして平成24年度は、テレビ放送終了後の事業運営が問われる初年度となりました。平成24年1月10日から4月25日まで全館休業によりアナログテレビジョン放送設備の撤去工事を行い、新しい確かな事業見通しを得るべく、様々な事業活動を展開してきました。例えば、平成24年4月1日からは新しいマルチメディア放送「Nottv」が開局し、再び放送の電波塔としての役割を継続することになりました。また、展望事業の魅力アップを最重点に進めてまいりまして、名古屋港水族館など観光施設や近隣ホテルとの連携を強化するほか、放送設備撤去後の空きスペースについて、地元劇団・落語家などによるイベントや名古屋市主催の「学生タウン・ナゴ校」の事務局など様々な有効活用を図ってきました。一方、栄地域の賑わいの創出に向けて地元発展会などと連携し、久屋大通公園を中心に防災訓練「ShakeOut」など新しいイベント開発を積極的に進めてきました。

この結果、当期における有料入場者数は217,967人（前年に比べ37.3%増）、また、無料を含む総入場者数は251,384人（前年に比べ24.5%増）となりました。これにより、当期における売上高合計は186,409千円（前年に比べ19.9%減）、販売費及び一般管理費合計は171,960千円（前年に比べ4.0%減）となりました。したがって、営業利益は14,444千円（前年に比べ73.0%減）となり、当期純利益は21,437千円（前年に比べ49.6%減）となりました。

平成25年度は、当社創立60周年を迎え、さらに翌年にはテレビ塔開業60周年を迎えることとなります。還暦の原点に立ちかえり2つの60周年を大きく飛躍するチャンスとして、久屋大通公園の魅力整備事業に積極的に参加するなどテレビ塔再生計画の実現をめざします。また、60年間の実績と経験を活かし、まちづくりや賑わい創出など地域の発展に貢献すべく抜本的な会社改革を進めてまいります。役職員一同全力をあげる決意でございます。株主の皆様には、誠に心苦しい限りでございますが、前期に引き続き今期も無配とさせていただきますのでご理解の上、ご承認を賜りますようお願い申し上げます。